

松本市多文化共生キーパーソン

1 国籍を問わず、誰もが地域の一員として活躍できる社会を作るため、行政や外国人住民などの様々な「橋渡し役」となって活動する人です。



2 「松本市多文化共生キーパーソン」への登録制度があります。



3 行政、キーパーソン同士、地域とつながるネットワークを広げながら、共生できる社会の実現を目指します。



コラム 「やさしい日本語」で話しかけてみよう

日々の生活の中で、「外国人 = 英語を話す人」というイメージを持っている方が多いと感ずることがあります。タイ出身の私は初対面の方に英語で話しかけられて、戸惑うことがあります。「外国から来た人は皆、英語を話す」と考えている方が多いのかな、と感じた出来事でした。

でも、実際はそうではありません。日本で暮らしている「外国人」といっても、様々な国の方がいて、話しやすい言語も文化も本当に多様です。母語が異なる人もたくさんいて、英語圏の人ばかりではありません。多くの人に知っていただきたいのは、相手の背景を決めつけず、一人一人を尊重する気持ちをもってほしいということです。見た目は外国人でも日本語が堪能な人もいます、その逆もあります。

何語を話すのか迷ったときは、まず「やさしい日本語」で話しかけてみてください。その人がどんな人なのかを知ろうとする気持ちで話し始めることが、温かいコミュニケーションにつながり、だれもが心地よく過ごせるきっかけになるかもしれません。



Q 「やさしい日本語」とは？

- A** 難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮した分かりやすい日本語のこと
- ✓ 文はわかりやすく、短く
 - ✓ あいまいな表現は使わない

例：全館禁煙となっていますので、お煙草はご遠慮ください。
→(例) ここでたばこを吸ってはいけません。

松本市多文化共生プラザ〔外国人なんでも相談窓口〕

多言語による相談や情報提供、交流イベントを行っています。

📍 M ウイング 3 階 (松本市中央 1-18-1)

☎ 0263-39-1106

📅 あいている時間・

詳しいことはホームページへ！



お問合せ先 松本市 住民自治局 平和人権共生課

📍 〒390-0811 松本市中央 1 丁目 18 番 1 号 M ウイング 3 階

☎ 0263-39-1105 📧 tabunka@city.matsumoto.lg.jp



第4次 松本市 多文化共生 推進プラン

[概要版]

令和 8 年度

令和 12 年度



プラン本編



「松本市多文化共生推進プラン」とは？

松本市多文化共生推進プランは、日本人も外国にルーツを持つ人も、地域社会の構成員として共に豊かに生きていけるよう、様々な施策に取り組む計画です。松本市では令和8年に第4次プランを策定し、取り組みを推進しています。

第4次松本市多文化共生推進プラン

基本理念

みんなで創る多文化共生都市・松本

～言語・文化・心理的な違いを超えて輝き発展するまち～

松本市に住む国籍も文化も言葉も違う人々を「みんな」としました。日本人住民が外国人住民の違いや価値を認めるのと同じく、外国人住民も日本人住民の違いや価値を認めて同じを共有し、みんなで多様性が活力になるまちを創っていくことが、私たちの目指す姿です。

みんなの役割

市民

- 地域づくりの主体
- 互いの文化・人権・多様性を尊重し相互理解を深め、共に暮らすという意識を高める
- 松本市の一員として積極的に地域活動に参加する

企業

- 外国人の雇用や受入れを行う企業は、労働関係法令等を遵守
- 日本語習得や生活ルールの周知などのサポート、市や関係団体等との連携
- 地域イベントに協力するなど、多文化共生の推進に資する地域貢献

地域

- 地区、町会（自治会）、NPO法人、事業所、教育関係機関等には日本人住民への多文化共生の意識啓発、外国人住民への生活ルールの周知、活躍の場の創出が求められる
- 日本人住民と外国人住民の豊かな人間関係づくり、地域のつながりを構築

行政

- 「多文化共生の地域づくり」を推進する体制づくり
- 市民・地域・企業・長野県などとの連携・協働
- 先進自治体等の知見・ノウハウの活用

目標と取り組み



「みんな」が違いを超えて、関わるのが楽しいと思えるポジティブマインドの形成

- 重点
- 多文化共生キーパーソンの活躍
 - 外国人住民の地域活動への参画促進
 - 交流活動の充実



行政、介護、医療、企業など様々な分野で「みんな」が活躍する、言葉も国籍も多様な社会の創造

- 重点
- やさしい日本語を用いたコミュニケーションの支援（やさしい日本語の普及及び活用）
 - 行政サービスの更なる向上
 - 相談体制の充実（多文化共生プラザの拡充・アウトリーチ）
 - 災害対応力の向上
 - 医療へのアクセス向上
 - 生活のための環境整備と就業に向けた情報発信



どの子も言語・文化・心理的な違いを理解し、成長する機会の創出と、外国にルーツを持つ誰もが日本語を学べる環境の整備

- 重点
- 子育て・教育環境の充実
 - 多文化理解への早期教育
 - 子どもの居場所づくり
 - 日本語教育体制の整備



「みんな」が「仲間」として認め合い、互いに力を合わせて活力を生み出す意識の醸成

- 重点
- 多文化共生意識の醸成
 - 小中学校等と連携した多文化共生意識の醸成



具体的な取り組み内容は松本市のホームページで公表しています。

